

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (株式会社アトリエデフ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R6.09.08変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			性別関係なく、極力社員がやりたい事を優先し、差別ない職場づくりを心掛けている。また、相談室を設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			社員全員がハラスメントがない職場づくりを心掛けている。また、相談室を設けている。各種ハラスメントの理解を深めるための勉強会等を計画し、社員への浸透を図っていく。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			原則残業禁止としている。残業が多い社員に対しては、その上司と各課で話し合いをし、改善策を促す。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			外国人労働者であっても、差別ない対応をしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			委員会を設立し、現場を巡回したり、危険な作業や現場での対応を社内へ共有し、注意喚起している。建築現場における労働衛生対策として、毎年取引業者に集まって頂き、安全大会を行っている。事故事例の共有や緊急時対応について認識の共有を図っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			昼食は定期的に贈いご飯をスタッフで作り、仕事以外の話をできる環境づくりを行っている。相談室の設置。社員同士での挨拶など声掛けに心がける。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			人材視野を広く持ち、外部では福祉との連携もしている。特に、工務店にも関わらず女性社員が多く、全体の半分は女性。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			年5回ある全体MTGでは、環境問題や建築に関わる勉強会を開催し、一人ひとりの能力を向上できるように取り組んでいる。また、各課ごとでも専門的な勉強会を行っている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。休暇制度では、全員が対象としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境と社員の健康の為に、自転車通勤を推進している。自転車に対しては、購入時に補助金制度を設けている。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			建築現場において、廃棄物処理法に基づき、適切な処理を行っている。また、端材は薪ボイラーの燃料に。生ごみはコンポストへ。資源ごみは、地域の収集日に持っていき、適切な処理を行っている。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			「再エネ100宣言RE Action」に加入している。各事務所のエネルギー使用量を毎年確認し、報告している。							7.3						13				

13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・ 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)		算出し数値としては把握していないが、暖房は薪ストーブ、給湯はウッドボイラー、発電は太陽光、その他電力は再生可能エネルギー由来の電気を購入(みんな電力より)し、温室効果ガスの排出を限りなくゼロに近づけている。							7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)		全事業において、化学物質が含まれる接着剤や塗料などを使用しない。			3.9			6.3					11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			事業の大半の原料である木材調達において、調達板分は、植林し森林整備を行っている。次世代にいいものを残せるように努めている。また、その他の素材においても環境に優しいものを選出し、地球に負荷をかけない取組みを行っている。							6.6								15		
16		【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			事業で使用する原材料は、最終的に土に還っていく自然素材のみとしており、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルされている。また、解体した際、使い続けられるものは、リユースし、他の物は、リサイクルし姿を代えても暮らしに使える物にする取組みを行っている											13		14.1				
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			環境問題や取組みをパンフレットやHP、SNSにて開示している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			一部の事務所では、太陽光発電を行い、家電、自動車の充電等を行う。また、薪ストーブ、薪ボイラーを使い自然エネルギーを取り入れている。他は、全て自然エネルギーを購入している。							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			木材は全て、トレーサビリティが明確な物を使用している。全スタッフで植林、整備を行う。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			収支は、各課ごと確認し、また幹部も確認する。経理状況など、ダブルチェックを行い不正が無いよう、行っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為に関与していない。周知している。																16	
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			知的財産の保有無し								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報は、専用クラウドにて管理している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			取り扱っていない																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			他企業と、環境に配慮した商品を開発販売している。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			作成し、公表している			3				8	9	10								17

目 番 号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製 品 ・ サ ー ビ ス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			事業そのものが、地球環境、人、生き物たちに優しい製品・サービスである			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			建築中はもちろんの事、お引き渡し後も、経年検査を行い、不具合等があれば改善し、より良いものにしていくために社内にて共有し、最善を尽くすよう努めている。								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			常に、環境に良いものは何なのかを追求し、限りある資源を大切にしながら、より良い設計、開発に取り組んでいる。						6					12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			放置竹林問題に取組み、自社で開発した、竹だけで作られた猫砂を生産、販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社 会 貢 献 ・ 地 域 貢 献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			地域おこし協力隊との取組み。地域イベントでの出店など、地域との関りを多く持てるよう取り組んでいる。				4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			建築した辺り決められた数値にて算出し、植林用の苗木代をNP0エコラ倶楽部へ寄付している。また、物販の売上の一部を被災地へや保護猫活動団体、子ども食堂へ寄付している。NP0エコラ倶楽部の活動に参加している。				4						11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			建築材料としては難しい長野県産の木々を、小屋用に製材し、活用している。地域で採れた野菜を使ってまかないご飯を作っている。地域の放置竹林を整備し、商品の資源として活用している。								8	9		11	12	13				
36	組 織 体 制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有している	基本 （必須）			入社時はもちろん、定期的な会議にて全社員に対して共有を行っている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			建築基準法は厳守している。また、顧問弁護士の元で、勉強し体制を整えている。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			幹部にて担当をつくり体制を整えている。迅速な対応ができるように努めている。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			弊社は、引き渡して終わりではなく、建ててからがお客様であり、特に暮らし方などをアドバイスしたり、一緒に畑や味噌づくり、餅つきをして、継続して繋がりをしている。															16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスク+D48:D52を特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）																				16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			「地球に負荷をかけない」ことを経営理念に掲げ、住まう人にも地球にも安心安全な家づくりを行っている。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）											9		11		13 13.1				16	
43		地域のイベントや学校行事にて開催+D48:D52	チャレンジ （任意）			地域のイベントに出店している。環境問題に係る分野にて、各教育機関にて出張授業を行っている。講義とWS型式。未来の子ども達に何をすべきか考えるきっかけづくりをしている。								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域の子ども達に環境問題についての講義を行う（課外授業；森林・食・暮らし）		地域のイベントや学校行事にて開催（講義 & WS）	1	2		4							11	12	13	14	15		17
未来に伝えるプロジェクト（次の世代もその次の世代も使い続けられる家づくりの実践と発信）		顧客、HPIにて、家づくりに使う資材のトレーサビリティ情報を共有								8	9		11	12	13	14	15		17
放置竹林問題への取組み（竹林整備とその活用）		地域の竹林を整備し、資源を有効活用している（竹炭、竹チップ、竹ペレット）			3	4	5		7	8	9		11	12	13	14	15		17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定